

Canada 留学 留学だより その2

(2016年11月～12月分)

経済学部 3年 峰村 英史



私は、カナダの東海岸に位置する Saint Mary's University のランゲージセンターで英語を学んでいます。現在 12 月のカナダは -30° の日もあります。ストームの日には、学校が早く終わったりすることもあるほど、雪が降ります。そんな、カナダの日常生活を紹介していきたいと思います。

私は、大学が位置するハリファックスに現在ホームステイをしています。ファミリーはファザーとルームメイト一人と私の構成です。朝食では、普段食パンを食べています。お昼ご飯は、いつもファザーがランチボックスを作って持たせてくれます。そして夕食の時はいつもファザーと一緒に食事をしながら会話を楽しんでいます。しかし、量が多いので毎日が食事トレーニングです。食事や会話については、ホームステイ先によって異なります。ホームステイも 1 つのビジネスなので各ホームステイによって色々なスタイルやルールがあるので私は、一度ホームステイ先を変更しました。理由はさまざまあったのですが、以前のホームステイ先では、基本的に会話がなかったのとお昼ご飯がいつも同じチーズサンドウィッチだったことも大きな理由の一つです。

日本の大学の授業とは異なり授業は、いつも時間いっぱいまで授業が行われます。宿題は、多くはないですが基本的に毎日あります。成績に反映する小テストが毎週あり、そのほかにも重要なテストの中間テストと期末テストが行われます。テストが頻繁にあるので、勉強は大変ですが、学校の図書館は夜の 2 時まで開いているので勉強する場所があります。また、たくさんスターバックスなどのカフェがあるのでそこで、勉強をしたりしています。さらに出席の管理はとても厳しいです。だから、私は授業に遅刻しないよう、普段から早く寝るように心がけています。

テストは、文法だけでなくスピーキング、リスニング、ライティング、リーディングやプロナンスエーションのテストがあります。文法は幅広く出題されるので細かな部分を忘れがちな私はいつも苦労しています。私が一番難しく感じているのは、プロナンスエーションのテストです。このテストでは、強調する音に線を引く問題や、4つのうちの1つだけ違う発音がある単語に丸を付ける問題です。一見簡単そうに見えますがとても難しいです。そういった日本ではあまり見ない問題をやっています。

ハリファックスは、アメリカにもとても近いのでカナダだけでなくアメリカにもいけるので二カ国を体験できます。さらにハリファックスはとても安全な場所で、人々もとても優しいです。以前私は財布を落としたことがありましたが、無事発見され戻ってきました。また、カナダではバスをよく利用するのですが、バスが遅延している場合やストームによってルートが変更された時は、バスストップで待っている全員に知らせてくれます。また、私が地域のクリスマスパレードに参加した時にも、たくさんの地域の方々からコミュニケーションをしてくれます。ハリファックスでの生活は、とても楽しく、充実しています。そしていたるところに英語を勉強するチャンスがあります。留学に興味を持っている人やウィンタースポーツが好きな人、英語の勉強をしたい人に Saint Mary's University への留学をお勧めします。

